

①環境舗装(保水性舗装、遮熱性舗装)

【実施例 1】環境舗装東京プロジェクト (国土交通省、東京都) ¹ (平成 14 年度～)

- ・試験施工：計 8 箇所 (45,000 m²)

文京区湯島：保水性舗装	葛飾区青戸：保水性舗装
港区芝：保水性平板ブロック	品川区西五反田：保水性平板ブロック
国会議事堂前：保水性舗装＋散水施設	大田区池上：保水性舗装＋遮熱性舗装
大田区南馬込：遮熱性舗装	中央区銀座：遮熱性舗装
- ・技術公募：収集した新しい技術の効果実証のためフィールド実験を行う

【実施例 2】下水再生水の保水性舗装への路面散水 (品川) ²

調査機関：国土交通省
 調査場所：東京都汐留土地地区画整理事業地区
 調査期間：平成 17 年度 8 月 1 日～9 月 22 日
 調査目的：下水を高度に処理した下水再生水を活用し、舗装材の中に水を蓄えることのできる保水性舗装に散水した場合の温度低減効果を確認し、その結果を踏まえ、下水道分野におけるヒートアイランド対策としての下水再生水の路面散水の推進方策について検討する。

調査結果：

	散水未実施区間	散水実施区間	中央分離帯 (緑被化)
13 時	45.8 °C	37.8 °C	38.1 °C
18 時	31.1 °C	27.7 °C	28.0 °C

散水実施区間の路面温度は、緑被化された中央分離帯と同程度の温度になり、また舗装内温度についても、日中におけるピーク温度の低下だけではなく、夜間においても温度が持続的に低下する。

【実施例 3】遮熱性舗装の全国での施工実績³

2002 年度	1,925 m ²
2003 年度	49,940 m ²
2004 年度	41,686 m ²
2005 年度	35,919 m ²
2006 年度	100.303 m ²

¹ 「関東技術事務所における『環境舗装東京プロジェクト』の取組み」国土交通省関東地方整備局 (<http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/tech/develop/develop04.htm>)。

² 「東京都汐留地区における下水再生水の路面散水に関する実験結果について」国土交通省 HP (http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/04/040721_2_.html)。

³ <http://heatiland.tetum.info/taisaku/syadanseitosou.html>

【実施例 4】遮熱性舗装事業（熊谷市）⁴

「あっぱれ！熊谷流」プロジェクトとは、環境共生型のヒートアイランド対策を中心とした熊谷市のビッグプロジェクトで、合計 23 の事業で構成されている。その中の一つとして、遮熱性舗装事業があり、平成 20 年度は、熊谷市市役所の玄関入り口と西側駐車場に遮熱性舗装を施工。

②ドライミスト

【実施例 1】東京都助成制度⁵（平成 18 年度のみで終了）

公共的空間（商店街なども含む）に、他のモデルとなるようなドライミストを装置を設置する事業者に対して、設置に係る工事費、調査設計費、備品等購入費などの費用の一部を補助する。

<補助額>補助対象経費の全額（100%）、上限は 1,000 万円
（補助総額 2,000 万円）

<実績>（2006 年度）

申請件数：10 件（商店街 3 件、その他*7 件）

採択件数：2 件（商店街 1 件、その他 1 件）

*その他とは駅前広場、公開空地、劇場前広場、商業ビル屋上等

商店街：戸越銀座商店街

事業者）戸越銀座商店街振興組合

散布面積）約 200 m²

その他：秋葉原駅西側交通広場内

事業者）(株)クロスフィールドマネジメント

散布面積）約 135 m²

【実施例 2】吉祥寺元町通り F & F ビルコンコース（武蔵野市）⁶（平成 20 年 6 月）

<実施機関>武蔵野開発公社

<予算額>2,100 万円（市の補助金あり）

⁴ 「あっぱれ・冷ませ・遮熱性塗装事業」熊谷市 HP
(<http://www.city.kumagaya.lg.jp/appare/samase/syanetu/hoso/index.html>).

⁵ 東京都環境局 HP (<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/heat/drymist/drymistpress.pdf>).

⁶ 武蔵野市 HP (<http://www.city.musashino.lg.jp/cms/kouhou/kaiken/00/00/86/archive/8628-1.pdf>).